

[成果情報名]超極早生ライムギの県奨励品種「ダッシュ」の特性

[要約]超極早生ライムギ「ダッシュ」は、極早生品種の「春一番」と比べて 13 日程度早期に収穫が可能で、同じ超極早生品種の「ライ太郎」よりも収量性に優れる。夏作トウモロコシの播種作業の分散化や作付期間の延長が可能となる。

[担当]山梨県畜産酪農技術センター・草地環境科・保倉勝己

[分類]技術・普及

[課題の要請元]

畜産課

[背景・ねらい]

ライムギは県内の主要な冬作飼料作物であるが、収穫時期が夏作トウモロコシの播種時期と重なるため、作業が集中して労力負荷が大きく、トウモロコシの作付期間を制限する要因にもなっている。

県内では主に極早生品種が利用されているが、熟期がさらに早い超極早生ライムギが市販されているため、これらの性能評価を行い、県内の気象条件等に適した優良品種を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. 畜産酪農技術センター長坂支所（北杜市長坂町、標高 700m）では、超極早生品種「ダッシュ」の出穂期は極早生品種の「春一番」に比べて 13 日程度早く、4 月上旬に収穫が可能である（表 1）。
2. 「ダッシュ」の倒伏耐性は「ライ太郎」より劣るものの、「春一番」より優れ、かさ枯病の抵抗性は「ライ太郎」、「春一番」と同程度である（表 2）。
3. 「ダッシュ」の収量性は「ライ太郎」より優れ、「春一番」と比べて乾物率が高いことから収穫時の予乾時間短縮も期待できる（表 3）。

[成果の活用上の留意点]

1. 県内の平坦地～高冷地で活用できるが、耐寒性や耐雪性にやや劣るため、高冷地では早播きに努める。
2. 倒伏耐性にやや劣るため、刈り遅れに注意する。

[期待される効果]

1. 極早生品種と比べて早期に収穫ができるため、堆肥散布や耕起、施肥など作業工程の多いトウモロコシの播種作業を分散化させて余裕を持って行うことが可能となり、労力負荷の軽減につながる。また、夏作トウモロコシの作付期間延長により収量増加が期待できる。

[具体的データ]

表1 ライムギの出穂期(2019~2021年)

| 品種名 | 出穂期(月日) | | | |
|---------------|---------|-------|-------|-------|
| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 平均 |
| ダッシュ(超極早生品種) | 4月8日 | 4月7日 | 4月2日 | 4月6日 |
| ライ太郎(超極早生品種) | 4月7日 | 4月8日 | 4月3日 | 4月6日 |
| 春一番(極早生品種・参考) | 4月22日 | 4月19日 | 4月17日 | 4月19日 |

注1)播種日:1年目 2018年10月25日、2年目 2019年10月30日、3年目 2020年10月26日

表2 ライムギの生育特性(2019~2021年)

| 品種名 | 草丈 | 倒伏程度 | かさ枯病 |
|---------------|-------|-----------|------------|
| | (cm) | (1:無~9:甚) | (1:極微~9:甚) |
| | 3年平均 | 3年平均 | 3年平均 |
| ダッシュ(超極早生品種) | 110 a | 4.0 a | 2.6 |
| ライ太郎(超極早生品種) | 100 b | 2.5 b | 2.9 |
| 春一番(極早生品種・参考) | 112 a | 5.9 c | 2.6 |

注1)刈取時調査

注2)縦列の異符号間で有意差あり(a,b,c: p<0.05 Tukey-kramer法による多重検定)

表3 ライムギの収量性(2019~2021年)

| 品種名 | 乾物収量(kg/a) | | | | 「ダッシュ」 比 | 乾物率(%) 3年平均 | 「ダッシュ」 比 |
|---------------|------------|---------|--------|--------|-------------|----------------|-------------|
| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 平均 | | | |
| ダッシュ(超極早生品種) | 78.1 ab | 90.0 ab | 80.5 a | 82.9 a | (100) | 19.4 a | (100) |
| ライ太郎(超極早生品種) | 74.9 a | 81.4 a | 61.0 b | 72.4 b | (87) | 18.7 b | (96) |
| 春一番(極早生品種・参考) | 102.0 b | 102.6 b | 87.1 a | 97.2 c | (117) | 16.9 c | (87) |

注1)刈取日:1年目「ダッシュ」「ライ太郎」2019年4月9日、「春一番」4月22日、2年目「ダッシュ」「ライ太郎」2020年4月9日、「春一番」4月21日、3年目「ダッシュ」「ライ太郎」2021年4月6日、「春一番」4月19日

注2)縦列の異符号間で有意差あり(a,b,c: p<0.05 Tukey-kramer法による多重検定)

[その他]

研究課題名: 飼料作物優良品種選定普及促進事業

予算区分: 委託

研究期間: 2018~2020年度

研究担当者: 保倉勝己、山川和寛、望月葉